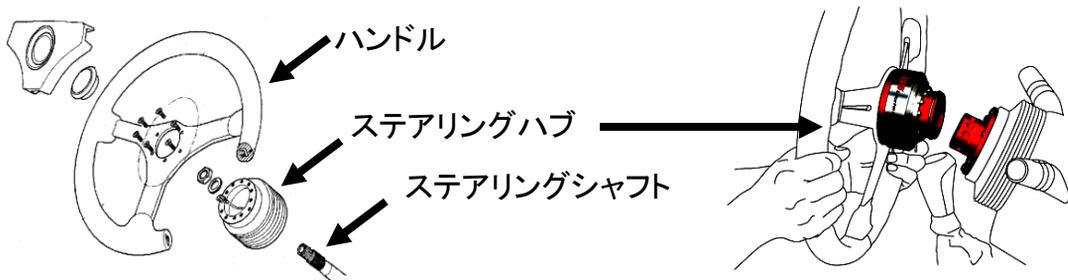


# 都産技研、NAPACの試験機関として正式認定！

## —自動車ステアリングハブの耐久試験—

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」）は、平成22年3月24日に、日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（以下「NAPAC」）から、自動車ステアリングハブに関する耐久試験の正式な試験機関として認定されました。この認定は、耐久試験用ジグを都内中小企業との共同研究で開発した成果が採用されたものです。

ステアリングハブとは、自動車のハンドルとステアリングシャフトを接続する部品です。



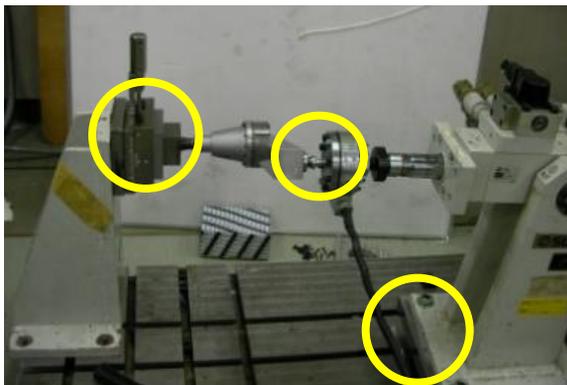
自動車の安全な走行に重要なステアリングハブの耐久性について、静的強度・耐久強度等の試験が行われています。都産技研は（株）ワークスベルと共同研究を行い、新しい試験用ジグの開発により信頼性の高い試験を可能としました。

### 従来の試験の問題点

- ・正しい負荷がステアリングハブにかからず、試験精度が確保できなかった
- ・ハンドルにジグを取り付けるため、  
ハンドルの形状によりジグを別々に製作する必要があった  
※ジグ（試験機と試験品を接続する器具）

### 開発したジグを用いた試験では…

- ・正しい負荷がかけられ、**高精度の試験結果**が得られる
- ・国内全自動車メーカーのステアリングハブを試験でき、  
依頼者の**ジグ製作の経済的/時間的負担が軽減**する



この研究成果により、NAPACからステアリングハブの耐久試験の正式な試験機関として認定を受けました（平成22年3月24日）。

左：開発した新しいジグを使用した試験例  
（丸印が開発した部分）

【お問い合わせ先】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

経営企画部 経営情報室 小山 TEL 03-3909-2431 FAX 03-3909-2590  
研究開発本部 デザイングループ 木下 TEL 03-3909-2327 FAX 03-3909-2590

<http://www.iri-tokyo.jp/>